道路事業の概要

目次構成

１．道路整備の考え方

２．道路予算の内訳

３．中期計画策定の流れ

東北のめざすべき将来の姿

～社会資本整備に係る東北地方の将来の姿より～

『強く美しい東北』を目指して・・・

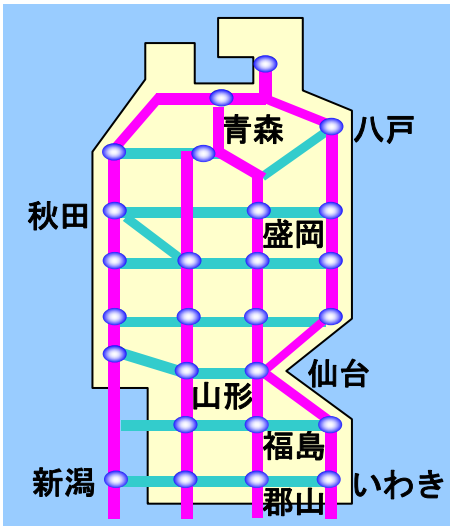
- 強い東北の創造
- 安全で安心できる地域づくり
- 魅力ある都市づくり
- 美しい東北の実現

強い東北の創造　～格子状骨格道路ネットワークの形成～

東北地方の
格子状骨格道路ネットワーク

4つの南北縦断軸
7つの東西横断軸
で構成

4つの南北縦断軸	
7つの東西横断軸	



強い東北の創造
～高規格幹線道路の整備率は約7割まで上昇～

【昭和62年度末まで(約20年前)】
供用延長:566km　進捗率:26%
・東北道弘前線　全線供用

↓

【平成9年度末まで(10年前)】
供用延長:1,076km　進捗率:49%
・秋田道、磐越道　全線供用
※東北6県 県庁所在地が接続

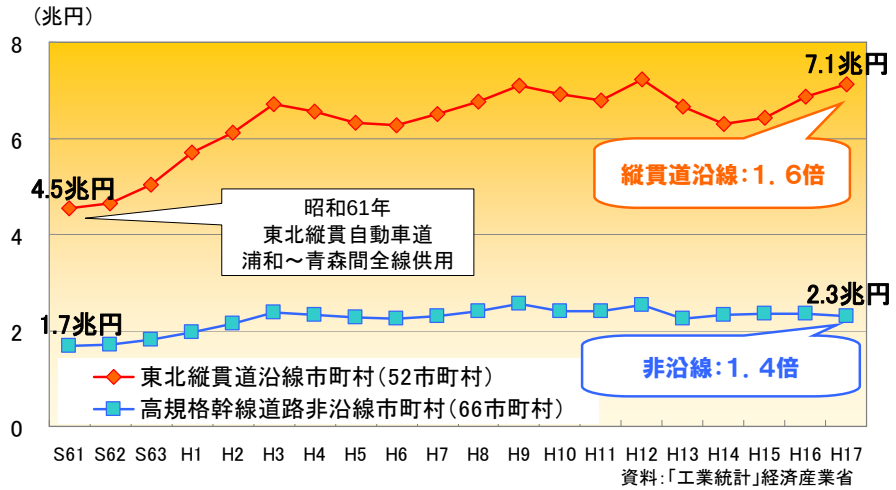
↓

【平成19年度末まで(現在)】
供用延長:1,485km　進捗率:67%



高規格幹線道路沿線と非沿線では製造品出荷額等の伸びに大きな差

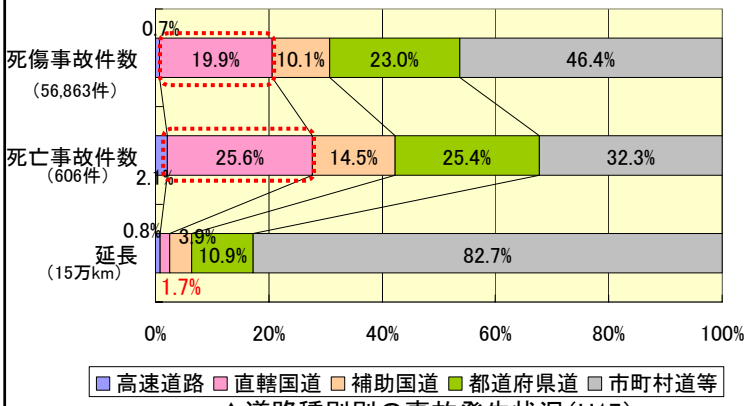
▼東北縦貫道沿線市町村・高規格幹線道路非沿線市町村の製造品出荷額等の推移



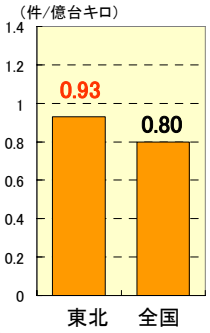
資料:「工業統計」経済産業省

安全で安心できる地域づくり

■東北地方の交通事故（約5.7万件/年）のうち、
約2割が延長約2%の直轄国道で発生
■東北地方の直轄国道は全国に比べ死亡事故率が高い



▲道路種別別の事故発生状況（H17）



▲直轄国道の
死亡事故率
（H14～17）

1.東北の道路整備の考え方

安全で安心できる地域づくり
～事故対策事例（国道4号堂前（どうまえ）地下横断歩道（郡山市））～

■当該箇所は、横断歩行者が多く、事故が多発

死傷事故率450件／億台キロ
県平均（99.9件／億台キロ）の4.5倍



▲地下横断歩道整備前の状況



▲堂前地下横断歩道整備箇所図

1.東北の道路整備の考え方

■地下横断歩道を整備し、歩行者・自転車と自動車を分離することで事故が大幅に減少しました

エレベータ



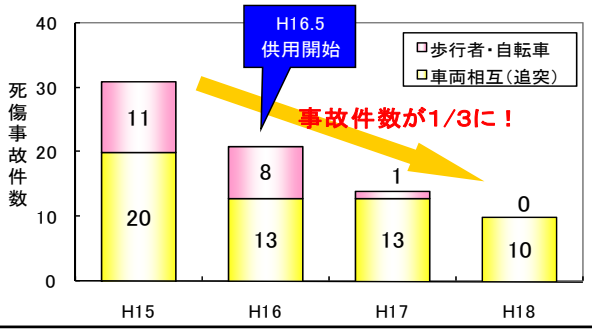
内部通路



どうまえ
堂前地下横断歩道



歩行者・自転車事故件数、及び追突事故件数の推移



1.東北の道路整備の考え方

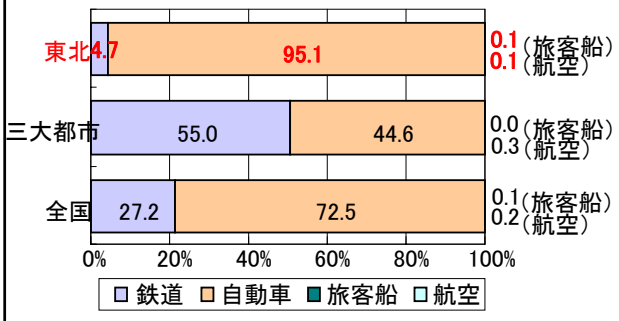
魅力ある都市づくり（1）

～東北地方は自動車に依存、全国を上回る渋滞発生地域も存在～

■東北地方の自動車分担率は95%を超え全国平均を大きく上回る

■東北地方には、渋滞ポイント交差点が289箇所存在し、渋滞損失額が年間約9,400億円発生

▼移動手段分担率



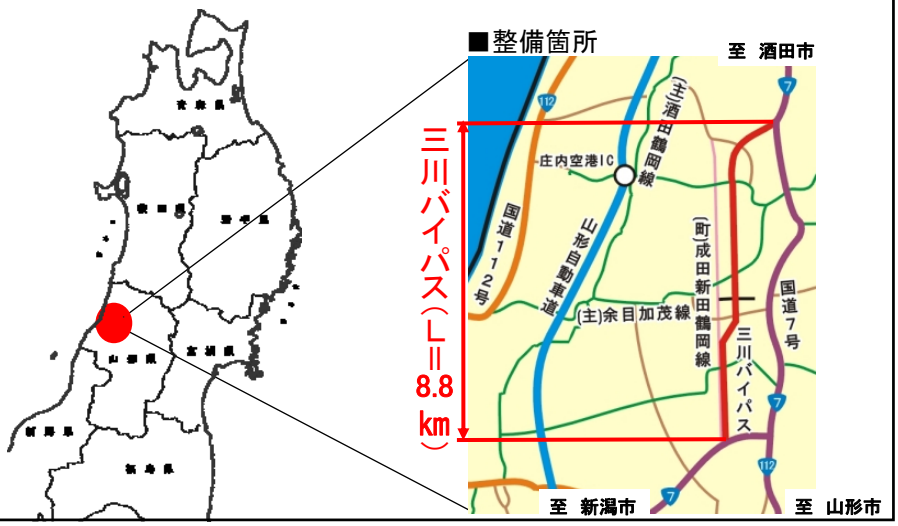
出典：国土交通省「平成16年度貨物・旅客地域流動統計」より作成

▼東北地方の渋滞状況(H14)

渋滞ポイント数	289箇所
渋滞損失額	9,416億円/年

出典：東北地方整備局

魅力ある都市づくり（1）
～渋滞対策事例（国道7号三川バイパス（山形県鶴岡市～酒田市））～



■国道7号は主要渋滞ポイントが2箇所存在するなど、著しく渋滞が発生していました

▼蛾眉橋（がびきょう）交差点の混雑状況
（酒田市側より蛾眉橋交差点を望む）

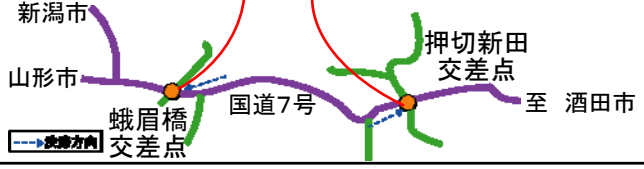


渋滞長：1,150m

▼押切新田（おしきりしんでん）交差点の混雑状況
（押切新田側より鶴岡市側を望む）



渋滞長：900m



1.東北の道路整備の考え方

■渋滞に対応するため三川バイパス（L＝8.8km）が平成15年度に開通しました







1.東北の道路整備の考え方

■バイパスの整備により旧国道7号の渋滞は解消しました

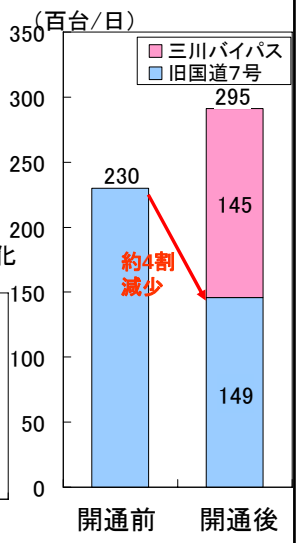
▼蛾眉橋交差点の状況（開通後）



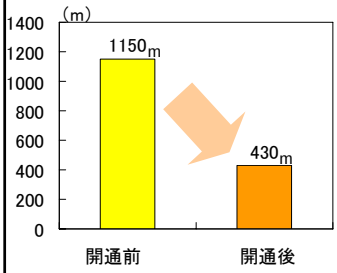
▼押切新田交差点の状況（開通後）



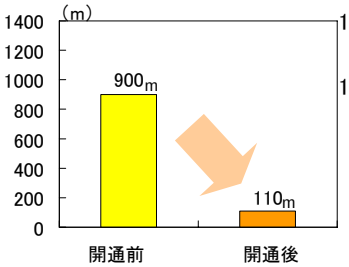
▼断面交通量の変化



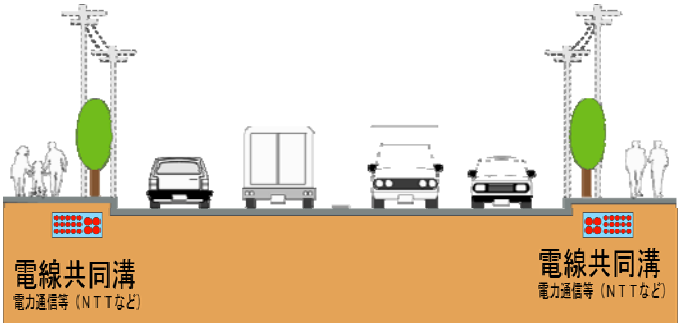
▼蛾眉橋交差点の渋滞長変化



▼押切新田交差点の渋滞長変化



魅力ある都市づくり（2）
～無電柱化による都市景観の向上～



〈電線共同溝〉
・電線共同溝とは、道路の地下に電力線・通信線等を
まとめて収容するための施設。

魅力ある都市づくり（2）
～無電柱化の整備事例（国道49号桑野（くわの）地区（郡山市））～

■無電柱化により都市景観の向上が図られました。



▲無電柱化前　　▲無電柱化後

魅力ある都市づくり（2）

～無電柱化の整備事例（青森県五所川原（ごしょがわら）市）～

■無電柱化により道路空間を確保し伝統芸能の復活を支援。

明治中期から大正初期にかけて行われた立佞武多



昭和初期には電線の阻害によりネプタを縮小



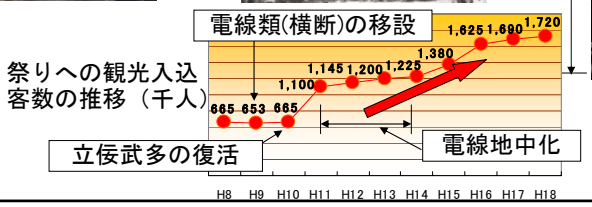




地中化した街並み



高さ20m



電線地中化により迫力の増した立佞武多（たちねぶた）

美しい東北の実現

～日本を代表する風景街道へ～

■道路ならびにその沿道や周辺地域を舞台とした多様な主体による活動そのものや、その活動によって形成される地域の資源を活かした多様で質の高い風景などを創成するとりくみ。

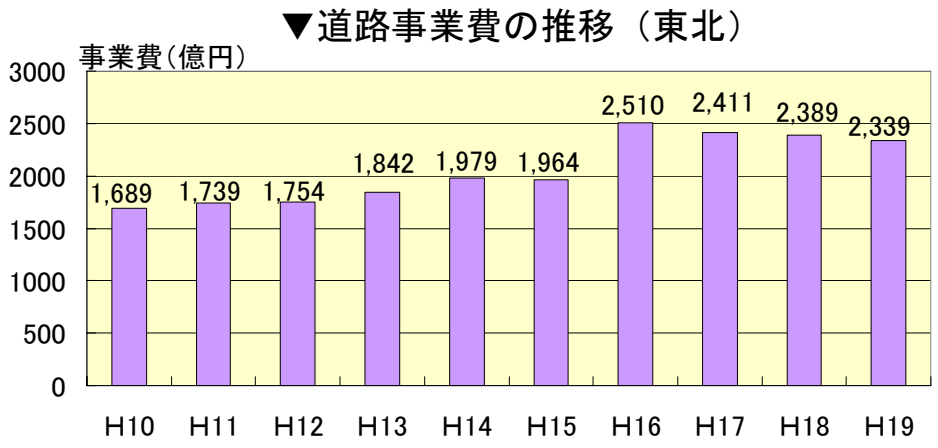
整備事例（案内標識の小型化（北海道富良野市））





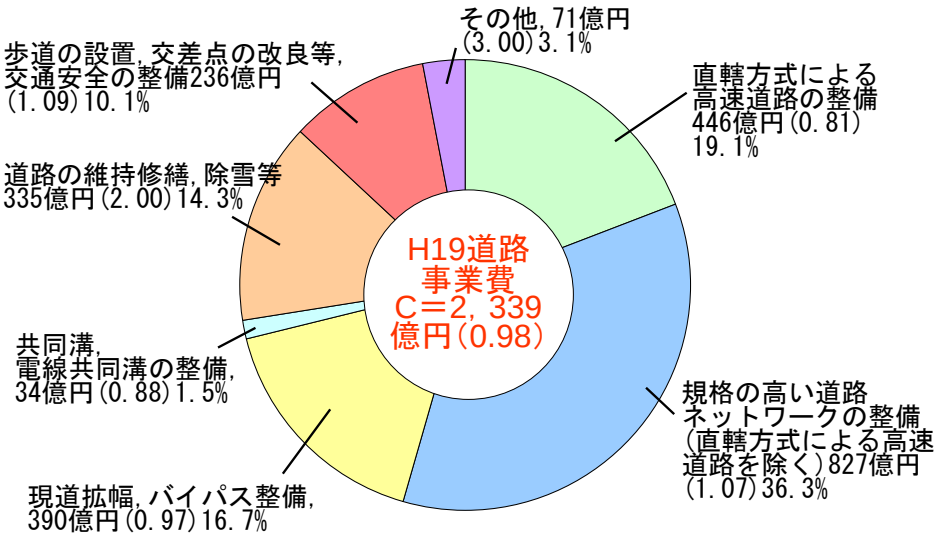
2.道路予算の内訳

東北地方整備局道路関係事業費の推移



2. 道路予算の内訳

平成19年度　東北地方整備局 道路関係(直轄)事業費



これまでの検討経緯と今後のスケジュール（予定）

4月～
「特に優先度の高い政策」、「効率化を進める上で重要な事項」について問いかけの開始

アンケート・意見聴取（～7月31日） ⇔ 国民各層

第1回問いかけ結果のとりまとめ

○意見総数
国民：約10万件、全首長
○「渋滞対策」、「生活幹線道路」、「交通事故対策」を求める意見が多数
○地域によって求める施策に相違あり

骨子案を作成

8月24日
骨子案を対象に、第2回問いかけを開始

アンケート・意見聴取（～9月25日） ⇔ 国民各層

中期計画の素案の公表

引き続き、意見聴取　等 ⇔ 国民各層

年内
中期計画の作成